

国際社会貢献センター(ABIC)は、2000年4月に社団法人 日本貿易会により設立され、2001年5月に 特定非営利活動法人(NPO)の認証を取得した。民間レベルの支援・交流活動を通じて国内外での社会貢献に寄与することを目的に、商社・貿易業界横断的なNPOとして様々な活動を展開している。

当センターには、商社OBを中心に、国際ビジネス経験・ノウハウ・海外駐在経験を有し、各国の政治・経済・社会・文化・言語を深く理解し、これらの経験・知識を社会に役立てたいとの志を持つ数多くのエキスパートが、活動会員として登録して、年間延べ約1,400名(2009年度見込)の活動会員が様々な分野で活動している。海外駐在経験者90%、英語+他外国語可能者50%、商社出身者85%、平均年齢66才。

在日外国人児童生徒教育支援関連の活動

- 多摩市と「適応指導業務委託契約」を結び、2003年度から多摩市の小・中学校在籍の外国籍・海外帰国児童生徒で日本語の理解が不十分な者を対象として、日本語指導及び生活適応指導を実施。
 - 一人の児童生徒に週一回2時間分を30回(6ヶ月)指導。年間、10~14名の生徒児童。(5千円/回の謝礼)
 - 現地駐在経験から子供の心理を理解できる会員が**現地語**で指導、学校への適応に効果をあげている。
 - ABICからの事業従事者は、毎回指導終了後、多摩市に育成記録を提出。
(※ 指導で感じること: 子供達だけの問題ではなく、親の問題も大きい。親のケアも必要。)



<指導風景>

- 三井物産(株)の推進している「在日ブラジル人学校/子弟教育支援事業」へ実働部隊として2005年から協力(学校への教育資機材供与形態から、2009年度以降は子弟への奨学金供与形態に変更)。
- 新宿区教育委員会が進めている「日本語学習等支援事業(外国にルーツを持つ児童・生徒向け)」に2009年度から参加。ABIC会員16名が事前研修に参加、順次活動に入りつつある。
- 大阪市教育委員会が継続している「在阪外国人への日本語指導」の2010年度からの拡充への協力で、ABIC会員18名が登録。
- NPO IWC国際市民の会(在品川区)が行っている「日本語教育支援事業」に協力(現状、講師1名派遣)。
- 文部科学省拠出の下、国際移住機関が遂行する「定住外国人の子どもの就学支援事業」を受託(初年度2009年12月1日~2010年3月31日。2011年度まで継続見込み)。茨城県常総教室と下妻教室の2ヶ所を実施。

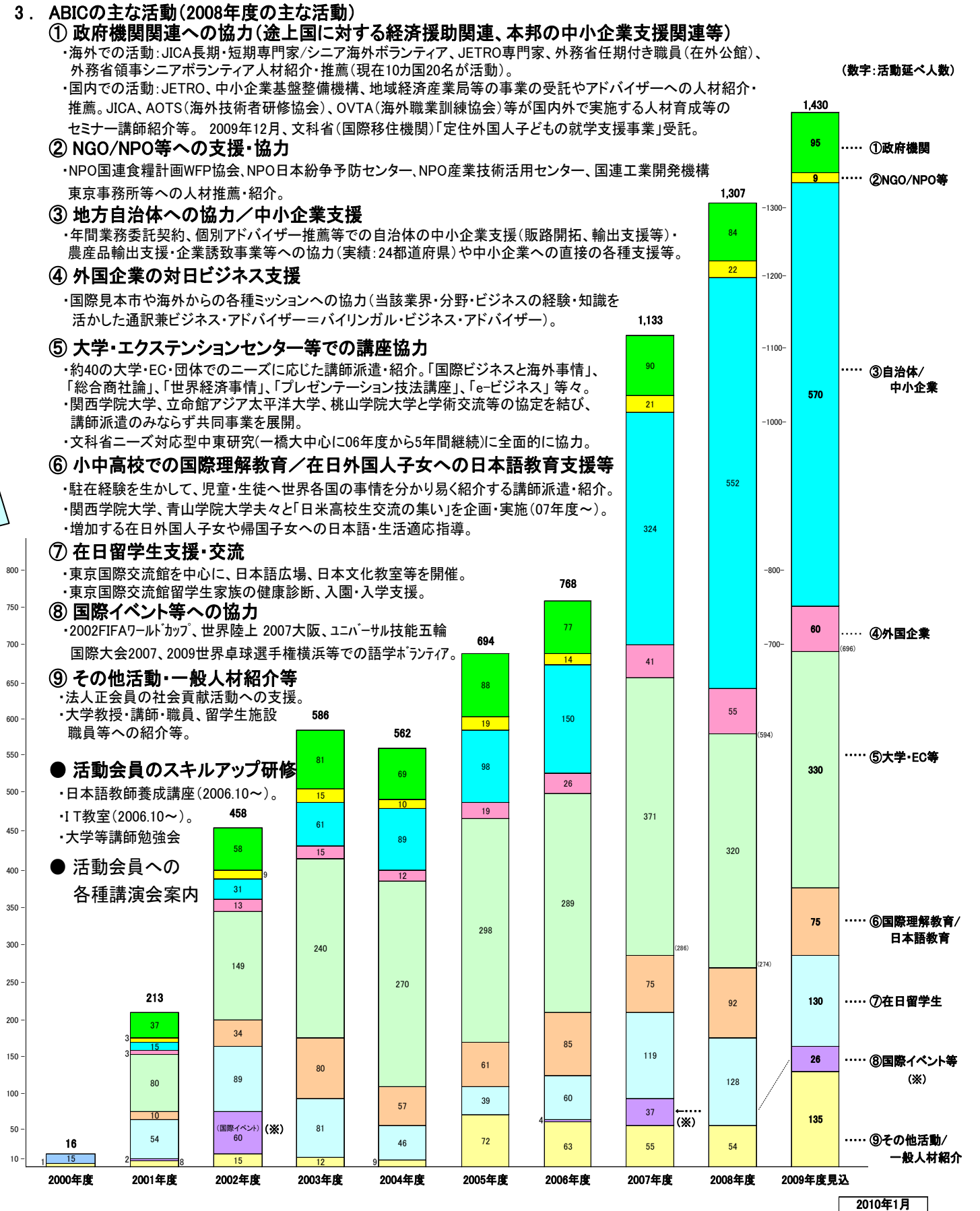
※ 国内外で需要が増している”日本語教育“への支援を拡大すべく、ABICにおいて2006年10月から「日本語教師養成講座」を開始(半年120時間実践コース)、現在までに75名が修了証を手にしてその半数以上が活動中。他にも日本語教師資格保有の会員・会員家族が約50名登録している。

【ABIC 連絡先】 〒105-6106 東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル6階 (社)日本貿易会内

Tel:03-3435-5973 Fax:03-3435-5979 E-mail: mail@abic.or.jp

[2010.1.8]

- ABIC会員関係(2009年12月末現在)
 - 法人/個人正会員:17社/7名、● 法人/個人賛助会員:3社/399名、● 活動会員:1,966名
- 2009年12月末までの活動会員の活動実績(延べ人数)累計:6,946。年度毎の活動実績:下のグラフ参照。



2010年1月